

二宮町行政評価について（意見）

「第6次二宮町総合計画後期基本計画」及び「第3期二宮町総合戦略」に係る施策の進捗について、町の内部評価を踏まえ、二宮町政策評価委員会として評価を行いました。

評価の対象となる6本の施策のうち3本は、「一定の成果があった」と評価しました。

また、自治体DXなどを通じた行財政改革の推進による町民の利便性向上を掲げた施策6に関しては、事業の進捗状況を総合的に判断した結果、「十分な成果があった」と評価しました。

一方、施策1及び施策4については、KPIの達成状況や設定方法に課題があり、また、関連する主な予算等事業において改善に向けた取り組みの必要性が見受けられることから、「あまり成果がなかった」と評価をしていますので、本委員会の意見を今後の行政運営の参考としてください。

各委員から様々な意見が出された中で、主な意見を6つの施策に沿って述べさせていただきます。

1つ目の「公共施設の利便性、機能性を高めるまちづくり」についてです。本施策は「あまり成果がなかった」と評価しました。

公共施設の総延床面積における削減目標は達成され、その他の関連するKPIの進捗状況は概ね良好であることが見受けられます。一方で、施設の再編にあたっては、行政機能の集約化等により、利便性や機能性の向上につながることは理解できますが、公共施設の総延床面積削減のKPIを達成したことによる成果を次回から「成果」の項目に記載してください。

また、東大果樹園跡地の活用について、新規利用団体の増加のため、町としても広報活動の強化を図ってください。

2つ目の「子どもの笑顔がかがやく、子育てと教育のまちづくり」についてです。本施策は「一定の成果があった」と評価しました。

中学3年生の英検3級取得率は目標に届かなかったものの、前年度から大きく増加していることは評価できます。今後は、保育所の受け入れ態勢の拡充や、小中一貫教

育に関する認知度向上のためのわかりやすい情報発信など、こどもたちの笑顔につながる、子育て世代が魅力を感じるまちづくりを目指し、前向きな取り組みを推進してください。

3つ目の「気候変動対策による持続可能なまちづくり」についてです。本施策は「一定の成果があった」と評価しました。

気候変動等の環境に関する取り組みは、KPI を概ね達成しており、進捗状況は良好であると評価できます。

ただし、自然災害やインフラの老朽化に対応するため、安全性の確保に向けた道路維持管理等について、より積極的な取り組みを進めてください。

また、温暖化対策についての進捗状況を測定するため、今後、町が策定した地球温暖化対策実行計画に基づいた具体的な取り組みを KPI に設定してください。

4つ目の「誰もが自分らしく安全・安心に暮らせるまちづくり」についてです。本施策は「あまり成果がなかった」と評価しました。

本施策における KPI の設定に関して、人権に関しては町民一人一人の意識を高めることが重要であることから、人権講演会への町職員出席者数ではなく、町民を対象とするなど、目的の達成に向けた事業の進捗を測定するための内容に見直す必要があります。

また、地域活動に参加している人の割合が前年度から下がっていることから、地域力の向上を図るため、町民が気軽に地域活動に参加できるような仕組みづくりの支援に取り組んでください。

5つ目の「活力があふれる、選ばれるまちづくり」についてです。本施策は「一定の成果があった」と評価しました。

遊休荒廃農地の復元整備については厳しい条件の中で、支援件数は増加しており、また、「このみや Life」の閲覧数の増加などの実績も含めて、町の振興事業への前向きな取り組みについて評価できます。

今後も、関係団体との連携や、住民と一体となって町の活力を高めるための取り組みを推進してください。

6つ目の「新しい時代に向けて、しなやかに対応するまちづくり」についてです。本施策は「十分な成果があった」と評価しました。

行政手続きのオンライン化は、計画値に対し順調に進捗しており住民サービスの向上に寄与していますので、今後も、さらなるデジタル化などを通じた利便性の向上や業務の効率化を進めてください。

また、連携事業に関しては、連携協定を締結している団体の他、企業や学校法人、団体等と連携して事業を実施していることから、本施策における進捗は良好であると評価できます。

最後に本意見書を基に、今後に向けた事業の改善について十分に検討することを望むとともに、持続可能で魅力あるまちづくりの推進に資することを期待します。